

# 海水浴場水質検査

海水浴場の水質は、毎年海水浴場の開設前と開設中に調査を行い、環境省に報告しています。横浜市には金沢区に「海の公園」の名称で親しまれている海水浴場があり、平成20年5月及び7月に水質検査を行いました。

海水浴場の採水は、健康福祉局生活衛生課が金沢福祉保健センター、環境創造局及び(財)横浜市臨海環境保全事業団の協力を得て行いました。



## 1 対象施設及び試料

(1) 対象施設:横浜市金沢区「海の公園」

(2) 採水日:5月26日・27日、7月15日・16日

(採水は連続した2日間で行い、7月は海水浴場開設期間中に採水)

(3) 試料:海の公園沖3地点、午前・午後で採水した海水計24試料

## 2 検査項目

(1) 福祉保健センター現場検査項目

透明度、油膜の有無(以上水質判定項目)、水温、透視度、臭気等

(2) 衛生研究所検査項目

COD(化学的酸素要求量(酸性法))、ふん便性大腸菌群数(以上水質判定項目)、病原性大腸菌O157、pH、一般細菌

## 3 検査方法

環境省通知に定める方法で実施しました。また、CODについては、日本工業規格K0102の17に定める方法で実施しました。区分判定の方法は、各データを平均して、該当する区分の判定を行いました(例:各項目のすべてが「水質A」以上である水浴場を「水質A」)。

## 4 検査結果

「海の公園」海水浴場の水質判定項目の結果は表1のとおりでした。この結果を水浴場水質判定基準(表2)によると、「海の公園」海水浴場の水質区分は、5月に行った結果は「水質C」、7月に行った結果は「水質B」でした。また、同時に検査を行った腸管出血性大腸菌O157は5月及び7月ともに不検出、pHは8.4~9.0(5月)及び8.3~8.8(7月)、一般細菌数は11~70cfu/mL(5月)及び1~22cfu/mL(7月)でした。

表1 「海の公園」海水浴場の水質検査結果

	ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	油膜の有無	COD (mg/L)	透明度 (m)	区分
5月	<2~86(26)	油膜が認められない	4.1~10(7.0)	0.9	C
7月	<2~14(4)	油膜が認められない	3.3~5.8(5.0)	1.0	B

表中( )内数字は平均値

表2 水浴場水質判定基準

区分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質AA	不検出	2 mg/L以下	全透(1m以上)
	水質A	100 個/100mL以下		
可	水質B	常時は油膜が認められない	5 mg/L以下	水深1m未満~ 50 cm以上
	水質C		1,000 個/100mL以下	
不適	1,000 個/100mLを 超えるもの	常時油膜が認められる	8 mg/L超	50 cm未満

【 水質担当 】